

スタンプショウはかた2023詳細記録

スタンプショウはかたは36回目、全九州ジュニア切手展は41回目の開催です。会場「TKPカンファレンスシティ博多」は10年目です。参観者数は171名で、昨年比30名減（2日目は昨年とほぼ同じ）でした。

【会場関連】

- ①TKPカンファレンスシティ博多の使用は10年目です。
- ②切手商ブースは昨年と同じ6店舗でした。
- ③10時少し前に展示作業を開始しました。机椅子の配置から始まり、展示パネルの位置等は設置マニュアルのおかげで、スムーズに進みました。11時開場には十分に間に合いました。

【後援】

- ①マスコミ各社の後援依頼は今年から高田さんが担当となり決定まで行きました。
- ②福岡市教育委員会は矢羽田さんによって決定ができました。
- ③日本郵便株式会社九州支社は末永さんにより決定ができました。

【周知活動】

- ①実行委員会からのDM：今年も一昨年の名簿に、新しい方を加えて、昨年から少し減って153人に差し出しました。
- ②郵趣：郵趣10月号に案内が掲載されました。
- ③マスコミを通して：後援をいただいたマスコミ各局に対して、お知らせを出しました。
- ④地下鉄のポスター：今回より掲載方針変更のためありません。
- ⑤ジュニア展：郵趣8月号と9月号に募集案内が掲載されました。
- ⑥チラシ：支部会員により各郵便局や福岡市の区役所と社会教育施設にもチラシを置いて貰いました。パインスタンプさん

がご厚意で有料広告として、福岡中央局、福岡西局、福岡東局、早良局、城南局、福岡新天町局に置いていただきました。

- ⑦レターパーク10月号：全国の郵便局で無料配布の小冊子に掲載（JPS本部からの情報）されました。

【出品物】

- ①特別展示：伊藤さんの「富士鹿・風景切手1922-1940」を展示できました。予定通り特別例会は初日午後4時から開催して、伊藤さんに解説していただきました。
- ②会員出品は、ジュニア展が2フレームとなったため、12フレームになりました。日本関連が3点（5フレーム）、トピカル1点（2フレーム）、国別2点（4フレーム）でした。1フレーム作品が2点、2フレーム作品が2点、3フレーム作品が2点になっています。少ないながらもいろんな作品が並ぶことで、見る側にとっても変化があって面白かったのではないかと思います。
- ④恒例の1リーフ展は15作品が並びました。内容的にはいろんなリーフがあり、面白かったのではないかと思います。

【ジュニア展】

- ①今年から沖さんが担当していただくことになりました。
- ②2名減って3名の出品で、2フレームの使用になりました。

【イベント】

- ①特別例会は初日午後4時から、1リーフ展説明会は2日目午後2時から行いました。

- ②全九州ジュニア切手展表彰式を土曜日午後1時から開催予定でしたが、出品者欠席のため開催出来ませんでした。
- ③1リーフ人気投票：受付とパネル下に封筒をぶら下げました。パネル近くにテーブルと筆記用具を準備しました。入場の際に「アンケートをお願いします」と一声かけたため、投票者は昨年から大幅に増えました(27人→48人)。

【記念品】

- ①小型印の申請をしていないので、記念品の作成はしませんでした。

【ブース】

- ①切手商は6社でした。アオヤマスタンプ、福岡スタンプ、エーススタンプ、アベノスタンプコイン社、和楽屋、パインスタンプ各社の勢揃いとなりました。
- ②今年も初日はオープンから閉場時間の5時まで出人が絶えませんでした。
- ③2日目は午後2時を過ぎるとかなり少なくなりました。
- ④今回もブース出店に関してはパインスタンプさんをお願いし、引き受けて頂いた。

【博多北郵便局】

- ①小型印の申請をしていないので、出張所はありませんでした。

【その他】

- ①ポスター印刷：今年も鹿児島島の谷之口さんの協力により、作成することが出来ました。一昨年と同じ1,000部を印刷し、各方面に配布できました。
- ②出品目録：昨年と同様にコピーで2つ折り4ページで準備しました。今年は皆さんの解説原稿が長く、レイアウトに苦労しました。
- ③「げんかい」特別号：今年も特別号を発行し、昨年より多い120部を作成しました。

- ④プレゼント：外国切手の記念カバー、日本切手のFDCを渡しました。提供と準備は末永さんとパインスタンプさんです。
- ⑤受付：今年は参加者カードを止めました。交替をしていただきながら、受付に詰めていただき、有り難うございました。
- ⑥無料コーナー：開催時間等は鈴木さんにしていただきました。開催中は賑わっていました。
- ⑦名札：支部会員全員に名札を下げてくださいました。
- ⑧荷物置き場：昨年と同じくらいの広さを確保しました。
- ⑨飾り付け作業：10時頃から始めた作業でした。いつものようにたくさんの方に集まっていただきました。順調に出来たと思います。30分くらいで準備は終わりました。
- ⑩撤去作業：順調に進めることが出来て、20分弱で終了しました。皆さんのご協力で順調に出来ました。
- ⑪開場時間：予定通り、初日は11時、2日目は10時に開場でした。
- ⑫仕事分担：今年から、ジュニア切手展は沖さん、マスコミ関係の後援依頼は高田さんが引き受けてくれています。ありがとうございます。
- ⑬支部会員の働き：福岡支部で開催している催しですから、会員の方々はお客さんではありません。初日の飾り付け作業、受付、会場内の管理、開催終了後の撤去作業などいろいろなことがあります。その中から可能な範囲でお手伝いをしてください。自主的にいろいろとお手伝いいただき、ありがとうございました。
- ⑭支部会員のブースでの購入：一般開場前にブースで品定めは控えていただいた様です。
- ⑮展示パネルの運搬：作業を引き受けてく

れた方に感謝です。

- ⑩ 飲食の後始末：荷物置き場等で昼食や菓子類を食べて、そのままにしている方はいなかったようです。これからも。ゴミは持ち帰りましょう。
- ⑪ アンケート：受付時に投票を求める案内をしたことで1リーフ展の人気投票を含めたアンケートの投票が増えました。

【会計】

- ① 地本からの補助金が2,000円増えました。
- ② 会場費は昨年より約3万円増えています。
- ③ ブース料金は昨年と同じです。
- ④ 印刷・コピー費も昨年とほぼ同じです。
- ⑤ 立て替えてある費用がありましたらお知らせ下さい。人件費はボランティアで、何かを購入していたら、ちゃんとお支払いします。

【来年】

- ① 開催時期：例年通りの第3土日曜で19日(土)・20日(日)で進めています。
- ② 会場：今年と同じ「TKPカンファレンスシティ博多」で進めています。
- ③ 展示パネル：今年まで使用してきた展示パネルは使えなくなります。TKP備品の三つ折りパーティションに6リーフを納めるビニルパネル(横2枚・縦3段)を貼り付けて使用する予定です。パーティション1台に両面で6枚使用です。
- ④ 展示内容：ビニルパネルを使用するので招待出品はしません。パーティション7台を使用予定で、ジュニア展も含みます。会員出品は今年と同じように、ジュニア展の作品数が決まらなると決定できません。
- ⑤ 後援：日本郵便、福岡市教育委員会、マスコミ各社の後援をお願いしています。

【来年への確認】

- ① 会場：TKPカンファレンスシティ博多
- ② 日程：10月19日(土)・20日(日)
- ③ 設営開始時間：今年と同じで切手商も含めて10時。これより早い場合、会場費の値上げに繋がります。
- ④ 初日の開場時間：今年と同じ11時
- ⑤ 展示パネル：前述の通りTKP備品のパーティション7台使用予定。
- ⑥ 展示内容：パーティション7台で、ジュニア展も含む。
- ⑦ 会場費：料金改定があり増額。また、パーティションの正規使用料は1台1日3,000円なので、10台(現在荷物置きに使っているのは見逃してくれています)使えば6万円となりますが、7台分の使用料を払うことになりました(3台はサービス)。
- ⑧ 特別出品：なし
- ⑨ 来年のブース料：今年と同額?
- ⑩ 出品単位：会員出品の出品単位をビニルパネルの6リーフ(1フレーム=6リーフ)とします。
- ⑪ ビニルパネルの保管：ビニルパネルは最低42枚必要です。購入代金はスタンプショウはかた会計より出しますが、その保管担当者(会場までの持ち帰りも含む)をどうするか。1人~数人。
- ⑫ 展示方法：試しにビニルパネルを養生テープを使ってパーティションに貼っていました。パーティションに糊跡はありませんでしたが、ビニルパネルの方には糊跡がありました。ビニルパネルにも糊跡が残らないようなテープはご存知ないでしょうか?。なお、ジャパスタンプさんからの返送物に貼られている白テープは綺麗に剥がせるそうです。